

対話でつなく授業 ～自己肯定感を高めて～

岩瀬 竜弥



指導員訪問④ 6年 家庭科

「こんだてを工夫して」 伊藤 実穂 教諭



「家族のために考える献立」。家庭科2年間の総まとめ。調理経験が少ない子供たちが、家族に対して何を大切にして1食分の献立を工夫するでしょうか。

食材の選び方や買い方、旬を調べ、目的に合った品質のよいものの選び方を伝え合う中で、相手に合った材料の選ぶ視点について見直す姿があったかどうかです。

伊藤教諭は、子供たちに常に挑戦者であってほしいと願いを込めます。好きなこと、得意なこと、気になることを声に出して行動に移してほしい、必ず支援したいと。自分自身がやってみたら違う自分に出会えたかも、と今実感しているからです。

さて、本時では、3種類のハム①②③を提示し、



授業者の4人家族のために選択させます。その理由をグループ対話で、選ぶ様々な視点も確認。そしてクラス対

話へ。C4、10「やさしい」「カロリーが」と食べる相手を意識、C7「ちょうどいい」と調理側を意識した発言を板書。



T15、17で、無添加のハム④を提示、食品添加物の存在によって立ち止まることで、C(つぶやき)で多くの子の見直す姿が見られました。

指導員を含めた学年協議会でも、比較できる板書、教師の出について活発な議論が展開されました。空気が変わり、揺さぶられるなか、私なら「健康に良さそう」を取り上げ、「みんなはどう？」と問かけ、①②③のよさに焦点化しますが、いかがでしょうか。

振り返りで「家族のためにを思うと、**すごく悩む**」と②を選んできた子。対面授業が始まって3日目。これぞ授業であり、伊藤教諭が願う、声に出し、相手を大切に思っ**て**買い物や調理する姿に期待です。

<授業記録より一部抜粋、編集>

- ※挙手・・・①25人、②2人、③6人
- T3：どうしてそれ選んだの？理由教えて。
- C4：③高いけどヘルシーだから、家族に**やさしい**。
- －<略>－
- C7：①賞味期限が長い、安い、一人2枚だと4人家族だったら、2パック8枚だから**ちょうどいい**。もう1パックは、**使うときに使えばいい**。
- －<略>－
- C10：①、1番安くて、枚数が多いし、**カロリーが多くない**から、いろんなところが優れている。
- －<略>－
- T15●：「水あめ」と言った子がいたけど、裏にいろいろと書いてあるね。成分表って見た？そこに書いてある発色剤、見つけた？保存料とか。これ食品添加物って言います。
- C16：ない方がいい！（つぶやき多数）
- T17：発色剤はきれいな色にしたりとか。調味料、味付けしておいしくしたり。先生、実はもうひとつ買ってあります。これは、食品添加物が少ない、豚肉そのまま。(④を提示、写真を添付)
- C(つぶやき)：①うまさう、①を買う、③よりそっち(④)の方が**健康に良さそう**。